



We Serve

県政はすべての県民のために

中正、公平に行われるべきである

最後の県議会答弁より

千田正

県勢発展に心血を注いだ
第二代(公選)岩手県知事

Lion

いわて

2021-2022

3月・4月合併号

国登録有形文化財
千田正記念館



胆沢郡金ケ崎町三ヶ尻谷地中98番地 TEL.0197-42-2495



332-B 地区アクティビティスローガン

小さな煌めきの結集で

笑顔が輝くアクティビティ

第34回 ライオンズ国際平和ポスターコンテスト 山口結貴さんの作品が 複合地区でも優秀賞に輝く！



国際平和ポスターコンテストで東北地区優秀賞を受賞した山口結貴さん

助け思いやる世界願う LC平和ポスター東北地区 山口結貴さん優秀賞

催す第34回国際平和ポスターコンテストで、市立水沢小学校(朝倉啓二校長、児童571人)6年生の山口結貴さん(12)の作品が県地区で最優秀賞、東北地区では優秀賞に輝いた。

同コンテストは、子どもたちに争いのない世の中について考えてもらおうと、世界中の11-13歳を対象に平和をテーマにしたポスターを募っている。言語に関係なく思いが伝わ

るよう文字や数字、記号を書かないのがルールだ。山口さんは、水沢中央LC(藤沢明規会長)が審査した32点から、他2点と共に優秀作品に選ばれた。本県を区域とするLC国際協会332-B地区の審査で、71点の中から最優秀賞を受賞。東北地区では、各県から推薦された18点から優秀賞に選ばれた。

今コンテストのテーマは「私たちはみんなつながっている」。山口さんは、水彩絵の具とアルコーンマーカーを使い、いろんな国の子どもたちが地球の上で手をつなぎ泣いている女の子を励ます様子を表現。平和の象徴であるハトがハート形にリボンを結んでいる姿も描いた。

将来はイラストレーターになりたいといい、来年度も同コンテストに参加する予定だ。「一人で泣いていて心細い子を、周囲が助け思いやる優しさのある世界だといいな」と思って描いた。賞に入ると思っていなかったけれど、家族も喜んでくれてうれしかった」と笑顔。現在勃発しているロシアによるウクライナへの侵攻については「それぞれが思いを話し合い、平和的に解決できれば」と願った。

7日、同校で藤沢会長(52)から各賞の表彰状と記念品が伝達された。藤沢会長は「みんなが平和に同じ意識を向けることができたら良かった。当クラブが選出した作品が県で最優秀賞を受賞し喜ばしい」と話した。

LC国際協会332-B地区は、東日本大震災復興支援ACTとして、山口さんの作品を含め県審査に出された作品を車両全体にデザインした列車を三陸鉄道で走らせる。13日午後0時10分から宮古駅で出発式を行い、1年間走行する予定だ。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区

事業報告 第3回キャビネット会議

キャビネット幹事 L.鈴木 義則(水沢中央 LC)

2022年2月18日(金)晴

春の到来を感じさせる穏やかな天候の元次期ホストクラブ本拠地である大船渡市まるしちザ・プレイスにおいて2021-2022年第3回キャビネット会議を開催致しました。

一度は収まるかと思った新型コロナですがオミクロン株とやらが猛威をふるい岩手県緊急事態宣言下での開催となり出席者も会場運営者もともにいささか不安な面持ちでした。

出席者は地区名誉顧問会5名、キャビネット役員34名、オブザーバーホストクラブ会長1名に加え、次期キャビネット役員予定者8名、次期ホストクラブ会長4名(1名兼務)、事務局員3名、次期事務局員1名合計55名での会議となりました。

キャビネット筆頭副幹事L.及川信勝(水沢中央LC)の進行により地区ガバナーL.村上孝の開会宣言に続き国歌、ライオンズクラブの歌の黙唱を行いました。

地区ガバナー挨拶に続き複合地区運営報告、地区アクティビティ積立金運用委員会からは東京オリンピック・パラリンピック支援金残金の返金とスペシャルオリンピックス日本2022年第8回夏季ナショナルゲームス・広島大会寄付の依頼が報告されました。また地区緊急援助金委員会からは米国中西部・南部竜巻大災害復興支援LCIFへの指定献金拠出が報告されました。

地区運営では会員動向(会員数)について報告があり2021年6月1,982名、12月1,977名と微減。

あまりにも長いコロナ禍ではありますが引き続きより一層の会員増強に皆様のお力をお借りし是非とも会員数2,000名超えで次

年度ホストクラブ大船渡L.Cへバトンをお渡ししたいと思いますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。

第34回ライオンズクラブ国際平和ポスターコンテスト332-B地区審査結果の報告もされ、特筆すべきは盛岡中津川L.C(嶋野衛会長)提案による「東日本大震災復興支援アクティビティLCIFクラブシェアリング交付金」を活用した三陸鉄道車両に応募作品のラッピングを施し運行する壮大なこの事業は応募してくれた子供達、そのご家族が笑顔で良い思い出の提供、沿岸復興支援、ライオンズクラブのアピール、話題性(観光活性化)と多岐にわたり伝説のアクティビティになるものと確信しております。(3月13日出発式、運行開始予定)

議案審議は第1、2号議案次期地区ガバナー(栗村安弘L.大船渡L.C)、第一副地区ガバナー(高橋寛L.和賀L.C)立候補者承認の件(原案通り承認)を含む8つの議案が上程されすべてほぼ原案通り承認されました。

本来はこの後懇親会開催の予定でしたがこの状況下でありましたので閉会后お弁当を配布し敢え無く解散。(悲)

末筆ながら事前準備、会場設営、運営にご尽力下さいました栗村安弘副地区ガバナー、次期キャビネット幹事予定者榊原昌弘L.、同会計(大船渡L.C会長)新沼学L.、大船渡L.C各位、そして嚴重な感染予防を行って下さったまるしちザ・プレイススタッフ皆様へ心より感謝申し上げます。

引き続きキャビネット運営に深いご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

コロナに負けない心のL字の誇り

WE SERVE!

332-B地区2022～2023 ガバナー候補者紹介



候補者名 **L.栗村 安弘**

所 属 4R2Z 大船渡ライオンズクラブ
 生年月日 1953年4月6日(67歳)
 自宅住所 〒022-0007 大船渡市赤崎町字諏訪前35-4
 勤務先 栗村建設株式会社 代表取締役
 及び役職 〒022-0007 大船渡市赤崎町字諏訪前35-4
 電話 0192-27-0745 FAX 0192-27-9157
 学 歴 大船渡市立大船渡中学校卒業
 家 族 妻 栗村よし子

ライオン歴

1995年入会		2015年7月～2016年6月	クラブ会計
1999年7月～2000年6月	クラブ幹事	2016年7月～2017年6月	クラブ幹事
2003年7月～2004年6月	クラブ会計	2019年7月～2020年6月	クラブ会長
2005年7月～2006年6月	クラブ会長	2020年7月～2021年6月	
2008年7月～2009年6月	クラブ幹事		4R2Zゾーン・チェアパーソン
2014年7月～2015年6月	クラブ幹事	2021年7月～	第一副地区ガバナー

L.栗村 安弘の紹介

大船渡ライオンズクラブ 会長 新沼 学

大船渡ライオンズクラブから二人目の地区ガバナー候補者であるL.栗村安弘は、1995年に大船渡ライオンズクラブに入会しました。今年の11月で在籍28年を迎えますが、この間クラブ会長2回、クラブ幹事4回、クラブ会計2回、2020年は4R2Zのゾーンチェアパーソン、2021年は第一副地区ガバナーを歴任しています。

L.栗村安弘の常にライオンズクラブ活動に率先して取り組む姿勢は、私たちクラブ員の模範でありWe Serve(我々は奉仕する)の精神を体現し、クラブ運営の要として中心的な役割を果たしています。

地域の伝承活動においては、赤沢芸能保存協会事務局長として大船渡市無形民俗文化財である赤澤剣舞の伝承活動にも積極的に取り組み、後継者の育成、保存会の運営に手腕を発揮しています。地元中学校の文化祭で披露される郷土芸能である赤沢剣舞の指導を通して青少年の健全育成にも積極的に取り組んでいます。

L.栗村安弘は、バレーボール、大型バイクによるツーリング、ゴルフ等幅広い趣味を持っており、特に長年続けてきたバレーボールにおいては、大船渡市バレーボール協会会長としてバレーボールの普及に取り組む傍ら、一般財団法人大船渡市体育協会副会長として、バレーボール以外のスポーツの普及活動にも積極的にかかわっています。

また、栗村建設株式会社代表取締役として公益社団法人岩手県トラック協会の理事を平成25年から令和元年まで務め、現在は岩手県トラック協会ダンプトラック部会部会長として会員の意見集約を図り、業界の発展のために尽力しています。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、キャビネットやクラブの運営が大変難しい状況ではありますが、大船渡ライオンズクラブは会員一丸となってL.栗村安弘を支援して参りますので、332-B地区内の皆様方の心強いご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

332-B地区2022～2023 第一副地区ガバナー候補者紹介



候補者名 **L.高橋 寛**

所 属 2R2Z 和賀ライオンズクラブ
 生年月日 1951年4月15日(70歳)
 自宅住所 〒024-0331 北上市和賀町横川目12-37-11
 勤 務 先 有限会社鈴木電設 代表取締役会長
 及び役職 〒024-0331 北上市和賀町横川目12-37-11
 電話 0197-77-4111 FAX 0197-77-4721
 学 歴 東京電気大学卒業
 家 族 妻 高橋麗子

ライオン歴

1987年10月入会		2013年7月～2014年6月	クラブ会員理事
1995年7月～1996年6月	クラブ幹事	2014年7月～2015年6月	
2000年7月～2001年6月	キャビネット副幹事		4R2Zゾーン・チェアパーソン
2006年7月～2007年6月	クラブ第一副会長	2016年7月～2017年6月	
2007年7月～2008年6月	クラブ会長		クラブCN50周年大会委員長
2008年7月～2009年6月	クラブ前会長	2021年7月～	第二副地区ガバナー
2011年7月～2012年6月	キャビネット幹事		

L.高橋 寛の紹介

和賀ライオンズクラブ 会長 照井 渉

L.高橋寛は、1987年10月に和賀ライオンズクラブに入会し、クラブ三役をはじめキャビネット幹事、2R2Zゾーン・チェアパーソン、CN50周年大会委員長等を歴任されております。また、2017年から2021年まで地区GMTコーディネーターを務める等これまでにライオンズクラブの数々の役職をこなし、国際会長感謝状を3度、2020年には国際会長アワード国際会長賞を受賞しております。

また、地元北上におきましても、北上職業訓練協会会長として、各業種における職業資格の講習会や後継者育成指導の為、地元工業高校への出前授業、授業で使用する教材の寄贈など長年に渡って行っております。

L.高橋寛のライオン人生において忘れられない、忘れてはならない事業があります。それは、2011年3月の東日本大震災です。この年L.高橋寛は、故高橋晴彦ガバナーの下キャビネット幹事として復興支援事業の為、県内各クラブ、特に沿岸被災地へ何度も足を運び、そしてLCIFの協力のもと、釜石、大船渡、陸前高田へ屋台村の設置を実現いたしました。被災地域での会員減少が進む中、屋台村に参加し、かかわった皆様へライオンズクラブの活動を知って頂き、その後入会される方もいて、結果として会員増強に繋がりました。

次年度は地区ガバナーをサポートし、今まで培ったライオンズ精神とリーダーシップを発揮する事と思います。

和賀ライオンズクラブ会員一同、L.高橋寛が、東日本大震災のキャビネット経験を生かし、被災地域クラブはもとより、332-B地区全体の為の活動を支えて参りますので、皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。



ライオンズクラブ国際協会332-B地区

新会員オリエンテーションに参加して

L. 室岡 澄子(盛岡観武 LC)

私は2008年7月入会させて頂き2016年に新会員オリエンテーションに参加させて頂きました。当時参加してのクラブ内でのスピーチで自分の事は前にライオンを付け、他の方は名前の後ろにライオンをつけて呼ぶことにびっくりした件を話したら、全員が笑ったことを覚えています。それからはオリエンテーションに参加することは大切なことと思うようになりました。

何回か参加させて頂いた中で、今回はパワーポイントなど使用して頂きとても解りやすくテーブルごとのディスカッションなどで、普段会えないクラブの活動などやクラブ内の事などを聞く事ができ勉強と刺激にもなりました。

資料も過去の活動(スズラン給食)、歴代

ガバナー、332-B地区クラブ系統図など仕組みが解り易く新会員の菅原ライオンと参加して、ライオンズの事が理解できたと話されていましたのでとても有意義でした。

講師は鈴木雅彦講師で2時間30分の講演が用語の説明などを入れ最初から最後まで睡魔にも襲われず、「そうなんだ」と感動と納得できた講演でした。本当にありがとうございました。

最後に猿舘地区名誉顧問がスポンサーで参加されていましたことに、私もライオンズにいる限りスポンサー活動をしていこうという思いになりました。

キャビネット事務局の皆様も大変ご苦勞様でした。

ライオンズクラブ国際協会 332-B 地区 新会員オリエンテーション

2022年2月24日(木)
奥州市: プラザイン水沢



地区GLTコーディネーター鈴木雅彦L.の分かりやすく爽やかなレクチャーが印象的だったセミナー



ライオンズクラブ国際協会332-B地区

地区新会員オリエンテーション について

L. 佐々木 幸也(釜石 LC)

先日2021-2022年度ライオンズクラブ国際協会332-B地区の新会員オリエンテーションに参加させていただき、ありがとうございました。入会させていただきばかりで、かつスポンサーも参加できず、釜石ライオンズクラブからの唯一の参加ということで、不安を抱えながら参加させていただきました。

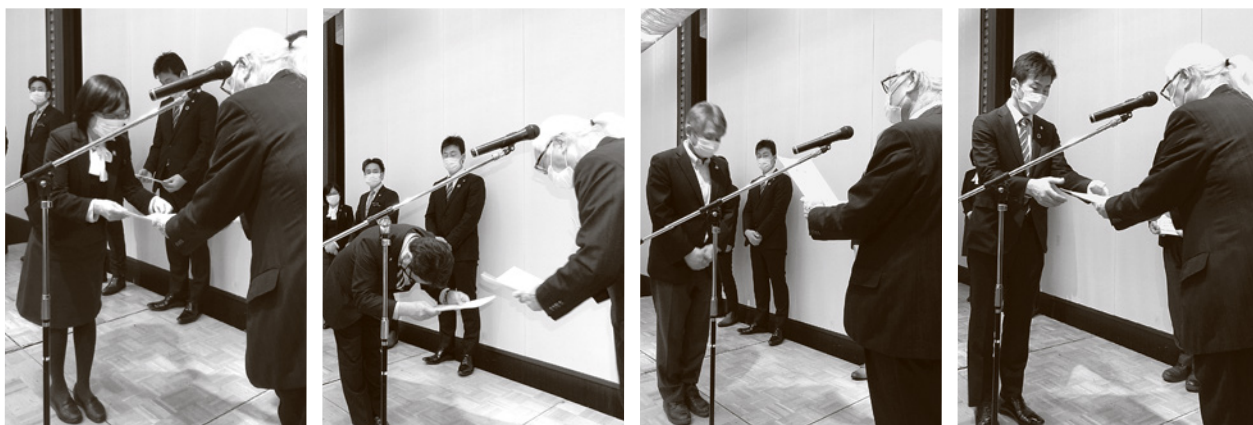
何度か奉仕活動に参加させていただきましたが、先輩の皆様が地元釜石のために奉仕に取り組む姿を間近に見ながら、その源がどこにあるのか理解しきれいていないところもありました。

今回のオリエンテーションの中で、「WE SERVE」「一人の英雄もなく一人の非協力者もない」というクラブ単位での奉仕という考え方に非常に心を打たれました。会社員として東京での勤務がほとんどであり、職場周辺の清掃活動に参加させていただく程度のことしか経験してきませんでしたが、ライオンズクラブ会員としての地域のニーズに応えるための奉仕活動に対して、心構え

をあらたにしました。

今回の参加にあたり、不安だったことはグループ討議等があった場合、経験が無すぎて他のクラブの方にとって有益となるような情報を発信できるのかということでした。その不安に対しては、同じテーブルの中ファシリテーターを務めていただいた次世代リーダーシップ委員のサポートもあり、ディスカッションに参加することができました。他のクラブの活動について触れる機会を得ることもでき、地域ならではの奉仕活動があり、クラブ会員としての視野も広げることができました。

様々な立場のライオンズクラブの会員が、お互いに肩書ではなく、ライオンと呼び合う対等の関係の中で、これまで会社組織の中で果たしてきたリーダーシップとは異なる、影響力の発揮について、自分を高めるための機会と捉えて、ライオンズクラブの一員として、「WE SERVE」に貢献していきたいと思っています。



セミナー終了後 村上ガバナーから参加した新会員の一人ひとりに修了証が授与されました



盛岡不來方ライオンズクラブ 盛岡翌松クラブ支部報告

あすなろ

盛岡翌松クラブ支部 会長 L.宮野 直子

本支部は2020年3月24日に結成され、同年3月31日に国際協会より承認されたばかりの結成間もない若い支部です。「翌松(あすなろ)」はヒノキ科常緑針葉樹で、樹高は大きいもので50メートルになるものもあり、「明日はヒノキになろう(=成長しよう)」という意味をこめて、本支部は命名されました。これまで親クラブの多大なご支援のもと、社会に貢献するライオンズ精神をもったメン

バーが、「できることから」という気持ちで活動してまいりました。コロナ禍での結成であったこともあり、支部独自の活動を考え実施していく困難さがありましたが、支部活動重点事項のうち、「労力アクティビティ」「こどもの貧困対策・支援」を中心とした活動を行ってまいりました。

2021～2022年の支部活動報告について、以下のとおりご報告いたします。

活動日	活動内容	活動日	活動内容
2021/7/4(日)	盛岡観武LC子ども食堂支援(覆馬場プラザ)	2022/1/3(月)	盛岡レオクラブ主催「世界のカレンダー展」支援(川徳7階特設会場)
10/3(日)	盛岡観武LC子ども食堂支援(青山地区活動センター)	1/12(水)	盛岡不來方LC新年例会参加(東家本店)
11/7(日)	盛岡観武LC子ども食堂支援(青山地区活動センター)	1/18(火)	盛岡不來方LC盛岡翌松クラブ支部新年例会(東家本店)
12/5(日)	盛岡観武LC子ども食堂支援(青山地区活動センター)	1/23(日)	盛岡観武LC子ども食堂支援(青山地区活動センター)
12/17(金)	盛岡不來方LCクリスマス家族会参加(盛岡グランドホテル)	2/13(日)	盛岡観武LC子ども食堂支援(青山地区活動センター)
12/19(日)	盛岡観武LCクリスマス家族会参加・ハンドベル演奏(盛岡グランドホテル)	3/13(日)	盛岡観武LC子ども食堂支援(青山地区活動センター)

これまでの活動から学んだことを活かし、今後は会員の和を一層深めるとともに、志を共にする会員増強を図りながら「地域復興支援、環境・インバウンド支援、SDGsの推進への貢献」等に対しても活動を広げたいと考えています。

世界のカレンダー展・即売会



盛岡ヤマト・なでしこ支部報告について

盛岡ヤマト・なでしこクラブ支部 会長 L.櫻 裕子

2015年10月1日に「盛岡なでしこ支部」として結成し、その後、男性会員も加入しやすいように「盛岡ヤマト・なでしこ支部」と改名して、今期で6期目を迎えます。主な活動は、子どもの居場所作りを目的として始めた「こども食堂」であります。活動開始から今期で5年目となりますが、行政はじめ、地域や企業そして何より多くのライオンの方々のご支援とご協力により、継続出来ていることに心より感謝申し上げます。

当所は、ご飯とお味噌汁はおかわり自由、おかずも好きなだけ食べていいバイキング形式で、大人と子どもが一緒になって楽しく過ごす場で地域の子育て支援の拠点を目指しておりました。しかし、突然のコロナ禍により、バイキング形式から手作り弁当のテイクアウトに形式に転換を余儀なくさ

れ、子ども達からの「遊んで帰っちゃいけないの?」と言う問いに、心苦しい思いを抱くこともしばしばありました。

現在は、月一回のペースで青山地区活動センターの厨房をお借りし、感染防止対策を講じながら野菜たっぷりのお弁当を作っております。また、お弁当のほかに、寄付して頂く様々な支援品もお渡ししています。

利用者の皆様からの「楽しみにしていたよ」とか「美味しかった」と言うお言葉が何よりの励みになっております。一日も早くコロナが収束し、また大勢で一緒に食事をしながらふれあえる元のこども食堂のスタイルに戻れるよう心から願い、継続は力なりを合言葉に支部一体となって活動していきたいと思えます。

子供達のたくさんの笑顔に出会えた 児童書寄贈活動

和賀ライオンズクラブ フロンティア支部 会長 L.佐藤 敬幸

今年度私達のアクティビティとして、ヘアドネーションという応援活動を地域の小中学校の児童・生徒さんへ知ってほしいという思いがありました。

北上市教育委員会にも活動の趣旨にご賛同いただき、私達の活動拠点である北上市和賀町内の小学校4校、中学校2校へ「31センチの約束」という児童書を校長先生、児童会、生徒会、図書委員会の皆さんにもお立会いを頂き各校へ2冊ずつ寄贈してまいりました。

「自分が伸ばしている髪をいつか誰かの

手助けに使ってくれたら嬉しいです」と笑顔で話してくれた生徒さんがいたこと、「家族が数年前に髪を切る際にヘアドネーションをしたんですよ」とお話しいただいた校長先生の言葉が印象的でした。

寄贈後の様子については、「31センチの約束」はいつも貸出中で、みんなで順番を待っている状態とのことです。

私達はこれからも地域の児童・生徒の健全な成長に繋がる活動を続けながら、私達自身の奉仕の心も育成していきたいと思えます。

332-B地区「平和ポスター入賞作品」

テーマ 私たちは みんな つながっている

三陸をラッピング列車が走っています！

運行期間
2023.3.13まで

ライオンズクラブ国際協会332-B地区は
これからも三陸のみなさんを応援します！

ラッピング列車 出発式 2022.3.13 宮古駅にて



B-地区最優秀賞に輝いた山口結貴さん(左)とお母様



ラッピングされたポスターは332-B地区から応募された1,731作品の中から各ライオンズクラブの審査を経て地区審査に進んだ71作品です

- | | | | | | |
|----------------|--------|----------------|--------|----------------|---------|
| 1 久慈市立久慈小学校 | 清水 遙 | 25 矢巾町立矢巾東小学校 | 千田 杏 | 49 盛岡市立城北小学校 | 昆 来瞳 |
| 2 久慈市立小久慈小学校 | 井戸 快音 | 26 平泉町立長島小学校 | 千葉 雅瑛 | 50 盛岡市立城北小学校 | 田村 仁花 |
| 3 花巻市立花巻中学校 | 佐藤 璃桜 | 27 平泉町立長島小学校 | 橘階 莉愛 | 51 紫波町立紫波第一中学校 | 山内 乃亜 |
| 4 花巻市立花巻中学校 | 川村 香鈴 | 28 平泉町立平泉小学校 | 門脇 海 | 52 紫波町立日詰小学校 | 鎌田 鮎之介 |
| 5 花巻市立花巻中学校 | 照井 沙和 | 29 一関市立千厩小学校 | 太田 あかり | 53 紫波町立西の杜小学校 | 渡辺 杏未 |
| 6 花巻市立南城中学校 | 小田嶋 奏菜 | 30 一関市立千厩小学校 | 千葉 花梨 | 54 盛岡市立上田小学校 | 佐藤 舞 |
| 7 花巻市立花巻中学校 | 梅瀬 優奈 | 31 一関市立千厩小学校 | 千葉 日葵 | 55 盛岡市立上田小学校 | 吉田 夏帆 |
| 8 花巻市立花巻中学校 | 佐藤 聖 | 32 奥州市立胆沢中学校 | 小原 琴羽 | 56 盛岡市立上田小学校 | 箱石 葵 |
| 9 北上市立江釣子小学校 | 内村 千鈴 | 33 奥州市立胆沢中学校 | 小野寺 礼人 | 57 盛岡市立仁王小学校 | 岩井澤 平蔵 |
| 10 北上市立江釣子小学校 | 米澤 瑛人 | 34 奥州市立胆沢中学校 | 菅原 一真 | 58 盛岡市立仁王小学校 | 佐々木 里奈 |
| 11 北上市立黒沢尻西小学校 | 立花 成美 | 35 大船渡市立大船渡中学校 | 大久保 優愛 | 59 盛岡市立仁王小学校 | 木村 早希 |
| 12 北上市立黒沢尻北小学校 | 嵯峨 歩穂 | 36 奥州市立水沢中学校 | 齋藤 環 | 60 八幡平市立大更小学校 | 井上 香穂 |
| 13 北上市立鬼柳小学校 | 佐々木 慎 | 37 奥州市立水沢小学校 | 結貴 玲貴 | 61 八幡平市立平笠小学校 | 今村 心晴 |
| 14 遠野市立遠野中学校 | 菊池 咲愛 | 38 奥州市立羽田小学校 | 千葉 鞠華 | 62 八幡平市立大更小学校 | 矢橋 咲葵 |
| 15 一関市立東山小学校 | 鈴木 大樹 | 39 金ヶ崎町立永岡小学校 | 栗野 仁 | 63 二戸市立福岡小学校 | 千歳 ミエイザ |
| 16 一関市立東山小学校 | 鈴木 望来 | 40 金ヶ崎町立金ヶ崎中学校 | 佐藤 垂衣留 | 64 二戸市立福岡小学校 | 高橋 璃音 |
| 17 一関市立東山小学校 | 小野 心夢 | 41 金ヶ崎町立金ヶ崎中学校 | 及川 紗穂 | 65 二戸市立仁左平小学校 | 高田 明依 |
| 18 一関市立花泉中学校 | 熊谷 遥子 | 42 八幡平市立安代小学校 | 佐藤 心花 | 66 花巻市立新堀小学校 | 佐々木 将矢 |
| 19 一関市立花泉中学校 | 上野 聖華 | 43 八幡平市立安代中学校 | 遠藤 一花 | 67 花巻市立石鳥谷小学校 | 鳥畑 悠星 |
| 20 一関市立花泉中学校 | 阿部 海遥 | 44 八幡平市立安代中学校 | 遠藤 梨音 | 68 花巻市立石鳥谷小学校 | 高橋 咲季 |
| 21 盛岡市立見前南小学校 | 藤澤 未来 | 45 一関市立大原小学校 | 菅原 爽 | 69 山田町立船越小学校 | 佐藤 心咲 |
| 22 盛岡市立飯岡小学校 | 五代橋 光葉 | 46 一関市立大原小学校 | 菅原 結依 | 70 山田町立山田小学校 | 小野寺 花凜 |
| 23 盛岡市立土淵小学校 | 本間 優衣 | 47 一関市立大原小学校 | 菅原 愛里 | 71 山田町立山田小学校 | 館本 莉乃 |
| 24 矢巾町立不動小学校 | 大坊 優剛子 | 48 盛岡市立城北小学校 | 柏崎 夏乃 | | (敬称略) |



出発式にはテレビの取材も駆けつけました



【宮古】 本県を走るライオンズインターナショナル協会33821B地区・利根地区カバナしは三陸鉄道中村一都社長らの協力を得て、これまでが描いた三陸平和の願いをラッピング列車の運行を開始した。

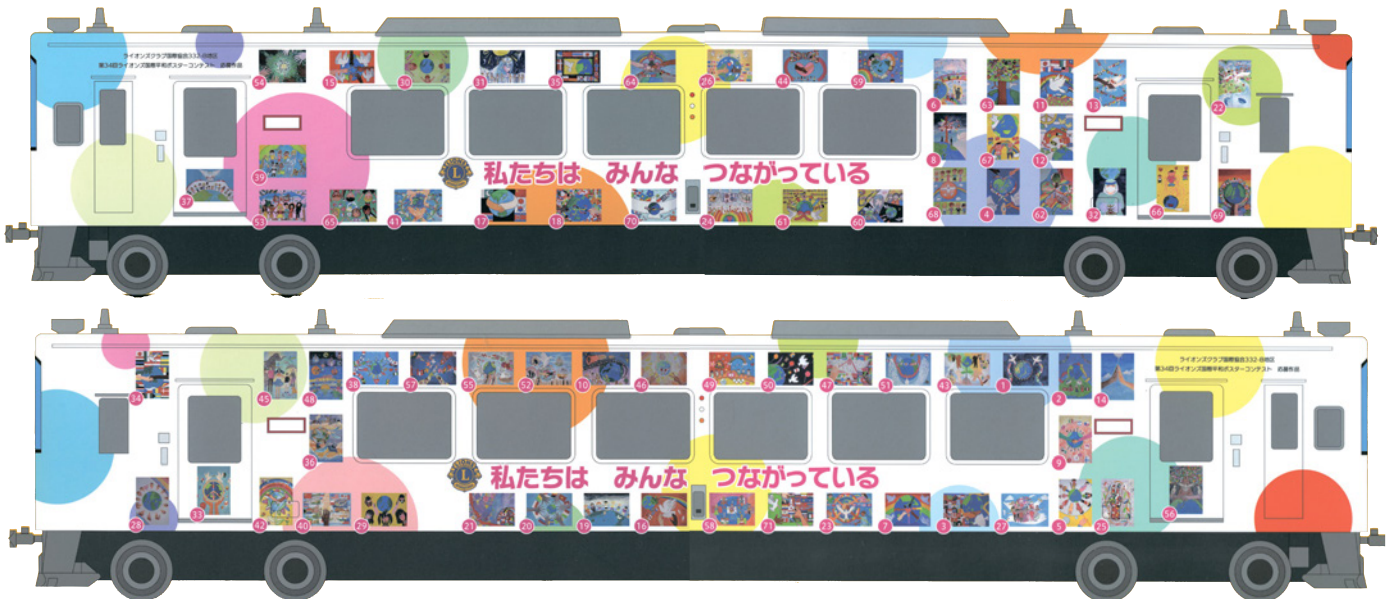
第34回ライオンズ国際平和賞受賞作品を車体全体にデザインしたラッピング列車が、3月16日午後6時、宮古駅を発車した。約50人が出席し、中村社長が「この列車を浮かべようという三陸平和の願いを、多くの人に届けてほしい」とあいさつした。

中村社長は「国際平和賞受賞作品は、三陸復興の世帯平和につながることを目指して制作された」と述べ、自身の作品がラッピングに採用された山田・船橋小6年の左藤心咲さんは「自分の絵が列車の一部になるのはうれしい。見た人が平和を願えることを祈っています」と願った。



ラッピング列車のポスターも制作され 随所に掲示されています

ポスターには番号と作者名及び学校名が記されており より見つけやすくなるように配慮がなされています



列車の運行に関するお問い合わせは三陸鉄道(株)まで



ライオンズクラブ国際協会332-B地区

「三陸鉄道 ～私たちはみんなつながっている～ 列車運行」出発式を終えて

地区GSTコーディネーター

L. 西本 有伺(盛岡中津川 LC)

私たち、332-B地区は、継続的に沿岸の皆さんに寄り添い、三陸復興を支援するアクティビティを実施してきました。今期、村上地区ガバナーは、地区内全クラブへ復興支援事業の提案を求め、その中から1R1Z7クラブよりの平和ポスターコンテスト応募作品を三陸鉄道にラッピングし運行する案を採用。第2回キャビネット会議にてLCIF地区シェアリング交付金を活用しての地区の事業として承認されました。

三陸鉄道が沿岸の皆さんの復興の象徴であること。そしてラッピングデザインのモチーフが「平和ポスターコンテスト」に応募した子供たちの思いがある作品であること。それこそがライオンズが願うメッセージだったからです。

三陸復興の象徴である三陸鉄道で、沿岸の皆さん、未来を担う子供達、県内のライオンズ、そして多くの人々と気持ちがつながる意味で、ラッピングのテーマはコンテストと同じ「私たちは みんな つながっている」としました。

村上地区ガバナーをトップとした実行委員会が立ち上がり準備を開始しましたが、ここでもやはりコロナの影響で打合せは延5回のZOOM会議で行われ、慣れない方々も多くいる中、これもチャレンジの一つでした。

そして迎えた3月13日。出発当日は小雨が降る、あいにくの肌寒い天気です。

感染症防止の観点からスタッフも少数になりましたが、地元のクラブの方々をはじめ全員で懸命に準備し、ご招待した入賞作品

の子どもたち・保護者の方18人をお迎えしました。そして、多くのメディアが集まる中テープカットを実施し、山田町立船越小学校6年佐藤心咲さんの「出発進行」の号令で、色鮮やかなポスターに包まれたラッピング列車は一路田野畑へ。定員の半分の乗車で感染対策をし、車中ではガイドによるお話を聞きながら2時間の旅を楽しんでいただきました。

これから1年間、この列車は三陸沿岸を復興と平和の願いを乗せて運行します。

三陸沿岸を走るこの夢あるラッピング列車で、少しでも多くの方々が勇気づけられ、また平和を願っていただけることを、切に祈っております。コロナが収束の折には、どうぞ三陸を訪問し、雄大な三陸の景色と復興していく街の姿をご覧いただければ幸いです。ラッピング列車の運行予定につきましては、お手数ですが三陸鉄道様にお問い合わせいただきますようお願いいたします。



三陸鉄道ラッピング列車の出発式にあたり 高らかに氣勢をあげるライオンズクラブの関係メンバーたち

北上レオクラブ活動報告

北上レオクラブ
令和3年度会長 **L.東 夏生**

北上レオクラブは北上コンピュータ・アカデミーの学生会メンバーを中心として、北上ライオンズクラブ様の協力を得ながら活動を行っています。令和3年度は14名の学生がレオクラブに所属し、様々なボランティア活動を行いました。私が会長に就いてから活動してきた内容について報告させていただきます。

2020年10月、北上レオクラブでは世代交代として2年生が受け持っていた役職を1年生に引継ぎ、新しい北上レオクラブとしての活動が始まりました。

最初に行ったのは例会です。月に一度、北上ライオンズクラブ様とともに活動内容についての打ち合わせをしています。私個人としては、会長職というものにあまり経験がなく、緊張してあまり上手くこなすことが出来ていませんでした。しかし、メンバーの協力もあり、何とか例会を取り仕切ることができました。

その後の活動として、北上コンピュータ・アカデミー周辺の清掃活動を行いました。前年より引き続き行われている活動ですが、地域貢献だけでなく、自分たちが生活していく北上コンピュータ・アカデミーをよりよくしていく、大切な活動であります。この清掃活動は積雪のない時期に月に一度のペースで継続して取り組んでいます。

2021年の1～3月には、古本回収を行いました。活動の内容としては、古本の回収とそれらの査定を行い、大まかな金額を算出していく作業になりました。それぞれが協力して順調に進めることができました。回収して得られたお金を募金することができました。

4月以降については、コロナ禍により活動規模の縮小・自粛が必要になってしま

い、あまり対外的な活動ができませんでしたが、月に一度の例会や、校内周辺の清掃などは欠かさないよう活動してきました。

これまでの活動により、ボランティア・奉仕活動の大切さ、素晴らしさを感じることができました。すでに後輩に会長は引き継ぎましたが、北上レオクラブは今後も地域・学校をより良くする活動に取り組んでいきたいと思います。

R3レオクラブ活動報告

一関二高
レオクラブ会長 **L.三浦 悠陽**

一関二高レオクラブは、部員1年生7名、2年生8名、3年生10名、計25名が所属し活動しています。活動日は毎週水曜日です。

毎年、一関中央ライオンズクラブと合同で、一関警察署と一ノ関駅へプランターの花を届けるボランティアを行っています。今年も農場で、農場の専門の先生から指導を受けながら、花を植えたり、花の手入れを行ったりしました。今年度は7月27日(火)に贈呈式を行いました。この花を届けるボランティアは、長年にわたり行ってきた活動の功績が認められ、今年、一関警察署より感謝状をいただきました。

通年の活動としては、校舎内の手指消毒用の消毒液の補充と校舎内の消毒を行っています。そのほかには、青少年赤十字の活動を行っています。赤十字登録式では青少年赤十字の目的や活動内容など、青少年赤十字の一員としてあるべき姿について学びました。7月8日(木)に高校生大会、10月15日(金)に活動発表会に参加し、県内の高校生と活動についての意見交換を行いました。本校は事務局担当校でもあったため、発表だけでなく、準備や進行なども行いました。また使用済み切手の回収を行い、寄

付する取り組みも行っています。

昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルスの影響でボランティア要請の依頼がほとんどなくなり、例年と同じような活動ができませんでした。しかし、オンラインでの研修会や発表会を通して、他校で工夫していることなどを知る機会を得ることができました。来年度も、新しい活動にチャレンジしていくために「気づき」「考え」「実行する」精神を忘れずに、今自分たちでできることは何なのか、部員全員で考え、活動を盛り上げていきたいと思えます。

レオクラブ活動報告

盛岡レオクラブ
会長 **L.菊池 美沙**

盛岡レオクラブは、高校生・大学生・社会人で構成しています。今年度は、10月に新入会員を1名迎え20名となりました。社会人のメンバーが多く実動人数が少ない上に、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症が広まる中での活動は、これまで行ってきた活動をどのように進めていくかなど課題の多い1年でした。リモート例会を取り入れながら活動計画を進め、今年度はアイバンクひかりの箱街頭募金と世界のカレンダー展並びにカレンダーリサイクル市を行うことができました。

アイバンクひかりの箱街頭募金では、募金活動と同時にアイバンク・角膜提供の登録はがきとパンフレットを配布し、アイバンクへの理解を広める活動ができました。募金の呼びかけなど配慮しながら感染防止対策を徹底し、“岩手医大アイバンク”へ沢山の募金を寄付することができました。

世界のカレンダー展並びにカレンダーリサイクル市は、昨年度新型コロナウイルス感染症拡大防止として開催を中止した為、2年ぶりの開催となりました。今年で39回目となる息の

長い活動ということもあり、ご来場頂いた方から『去年はなくて残念だったよ』『お正月の恒例となっています』など沢山の声を頂き、改めて活動を続けることの大切さを感じました。今年もスポンサークラブをはじめカレンダーをご寄付いただきました皆様方のご支援とご協力により無事に終えることができました。販売したカレンダーの収益金466,500円は“岩手県ユネスコ連絡協議会・盛岡ユネスコ協会・岩手県ユニセフ協会”の3団体へ全額寄付させていただきました。

昨年度に続き、何をすることもコロナウイルスで色々と制限されてしまう中での活動でしたが、その中でも感染対策を行った活動の軸を作ることができたように感じます。これも、盛岡レオクラブを支えてくださる皆様方のご協力のおかげです。本当にありがとうございます。今後も盛岡レオクラブの活動にご理解とご協力の程、よろしく願い致します。

私にできること

石鳥谷レオクラブ会長
花北青雲高等学校2年 **L.佐藤 愛海**

昨年2月、私は石鳥谷レオクラブの一員として、ライオンズクラブの方々に迎えていただきました。私がレオクラブへの加入を決めた理由は、様々な人との交流を通して人の役に立ちたいと思ったからです。また、私は将来、公務員として働くことを志望しており、日頃から地域の方々が過ごしやすい街をつくりたいと考えていたことも理由の一つです。ボランティア活動もたくさん経験してみたいと思っています。

レオの一員となり、活動の母体であるライオンズクラブについて、私自身も学習しました。ライオンズクラブの社会奉仕活動は、職域や個人で行うだけでなく、集団で有意義に活動することを目的としていることを知り

ました。また、レオクラブの活動は、ライオンズクラブの青少年育成プログラムであることも分かりました。個性豊かな人間に成長するための奉仕活動を促進し、会員の間で友情親善や相互理解の精神を育成することを目的としている点に、活動の意義を理解することができました。

今年度もコロナ禍が続く中、私たち花北青雲高校レオクラブ(29名)は、10月23日(土)に石鳥谷駅清掃活動に参加しました。待合室、トイレ、地下連絡通路など複数の箇所を分担し、丁寧に心を込めて行いました。この活動を通して、同じ学校の普段あまり関わらない人とも協力することができ、仲間意識が生まれ団結力が向上したように感じました。また、私自身が以前、石鳥谷駅にゴミが落ちていたのを見て見ぬふりをしてしまい、とても後悔したことがあります。今回の活動を通して、自ら行動することの大切さを学びました。そして、地域に少しでも貢献できたことに達成感を味わうことができました。

今後も、地域の方々との活動を通して、年代を問わず交流を深めながら、誰もが過ごしやすい街をつくることができると考えます。最後になりますが、今回の活動だけに終わらせず、自分から街や地域の方々のために行動できる青雲生であるよう努力したいと思います。

レオクラブ活動報告

釜石ライオンズ
クラブ会長

L. 蔭谷 兼明

今年度の釜石レオクラブは10名の新会員の申込みがあり、全て承認となりました。

早速、入会式を計画致しましたが、コロナ禍による学校側の制限がありまして入会式は断念致しました。しかし、会員証の贈呈のみ略式にて執り行う事が出来ました。参加

レオは会長のみでしたが、代表して《国際人としての教養を深めて奉仕の精神を培うレオの意義》を伝え、他のメンバーへ後日指導して頂きました。

その後は、レオフォーラムや釜石市内の奉仕活動・学校行事内での周知活動など、主要アクティビティは全て計画しましたが、殆ど中止となりました。特に活動の壁になったのが、学校生徒と屋内での接触禁止という感染拡大防止のルールでした。逆に屋外でしたら活動が可能という事でしたので、クリスマス献血キャンペーンでの周知活動は参画できました。

その後はオミクロン株の拡大により更に厳しいルールとなり、直接会う機会は無くなってしまいました。

こういったコロナ禍特有の影響が多々あったのですが、それでも非接触を原則としてメールや郵送等を駆使してアクティビティ計画を検討したり、校内での薬物乱用防止ポスターによる啓発活動などの直接会わなくても実施可能なアクティビティに積極的に取り組んだり、常に実施できそうなアクティビティを模索して実施してきた年度でした。

結果的に、マスコミ各社への取材依頼も殆ど出せず、見栄えの良いアクティビティ写真も少ないのですが、「コロナ禍だから何もしない」ではなく、「今出来ることを考えてみる」という、レオとしての意義はもとより《人としての奉仕の精神の基本を自然に学ぶことができた》という、とても内容がある年度だったと思います。

まだコロナ禍は続いています。《中止になるかもしれないけど計画を立てよう》という精神で、今後も工夫して活動できるように模索指導して、レオと共に活動して行きたいと思います。

釜石レオクラブは中村匠汰会長が高校を卒業したため現在空席状況です。釜石LCの蔭谷会長が代わって報告致しました

1月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	2,3,5日	盛岡レオクラブ世界のカレンダー展協力
	20日	おひさまキッチンへ食糧支援贈呈式
	23日	盛岡観武LC子ども食堂へ食糧支援
	26日	富古岩手LCひとり親家庭応援事業支援
盛岡不來方LC	2,3日	盛岡レオクラブ世界のカレンダー展協力
	23日	盛岡観武LC子ども食堂へ協力
盛岡中津川LC	2,4日	盛岡レオクラブ世界のカレンダー展協力
	24日	ひかりの箱募金
	25日	LCIF\$100献金
盛岡観武LC	2,4日	盛岡レオクラブ世界のカレンダー展協力
	23日	子ども食堂
盛岡南LC	2,5日	盛岡レオクラブ世界のカレンダー展協力
滝沢LC	13日	使用済み切手10000枚寄贈
	20日	ヘッドネーション
玉山姫神LC	2日	盛岡レオクラブ世界のカレンダー展協力
1R2Z		
二戸LC	13日	社会福祉協議会へ自衛隊非常食寄贈
西根LC	12月27日	社会福祉協議会へ自衛隊非常食贈呈
	7日	献血推進活動
安代LC	7日	社会福祉協議会へ自衛隊非常食贈呈
	7日	献血推進活動
2R1Z		
花巻LC	12月29日	献血推進活動
	25日	フードバンクへ自衛隊非常食寄贈
紫波LC	9日	献血推進活動
	16日	スポーツ少年団大会激励
	16日	防犯交通安全教室協賛
石鳥谷LC	8日	保存食を清光学園に寄付
	11日	花巻青年会議所賀詞交歓会
	26日	大迫中学校カルタ大会協賛
花巻東LC	26日	自衛隊非常食寄付
矢巾LC	5日	矢巾駅に雨傘20本補充
	7日	すくすくネットワーク巡回指導
	7日	矢巾町民劇場支援
	11日	新1年生の為の防犯交通安全教室
	20日	自衛隊非常食社会福祉協議会へ寄付
2R2Z		
北上LC	12月	資源回収リサイクル活動
	21日	献血推進活動
	26日	資源回収リサイクル
和賀LC	8日	子ども食堂支援
	21日	献血推進活動
	27日	児童書「31センチの約束」寄贈
北上国見LC	20,21,23日	献血推進活動
	24日	北上市社会福祉協議会へ非常食寄贈
	26日	使用済み切手 1183枚送付
江釣子LC	~7,20日	フードバンクへ食品寄付
	9日	献血推進活動
	26日	北上市社会福祉協議会へ非常食寄贈
	28日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰

3R1Z		
水沢LC	26日	使用済み切手 13548枚送付
江刺岩手LC	7日	ひかりの箱募金
	17日	使用済み切手 2000枚送付
前沢LC	10日	前沢LC杯少年剣道大会
	16日	献血推進活動
水沢中央LC	11日	駒形神社清掃・安全祈願
	19日	LCIF\$1000献金 3件
	23日	水沢中央LC旗フットサル大会
金ヶ崎LC	4日	こどもの未来古本募金
	21日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト展示会
胆沢岩手LC	24日	自衛隊非常食を社会福祉協議会へ寄贈
3R2Z		
一関LC	11日	LCIF\$1000献金、LCIFクラブ献金
	27日	青少年ライオンズ賞・隠れたる善行ライオンズ賞
平泉LC	10日	少年剣道大会
	21日	親子工作教室
花泉LC	25日	さくら園へ資源再利用品の収集支援
一関中央LC	12月24日	岩淵麗楽さんにオリンピック出場活動支援金贈呈
	12月26日	献血推進活動
一関厳美溪LC	—	
4R1Z		
千厩LC	25日	使用済み切手 3000枚送付
大東岩手LC	12月22,24,27日	老人施設クリスマス慰問
東山LC	18~24日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト展示会
	26日	岩淵麗楽さん一関後援会へ支援金
藤沢岩手LC	9日	藤沢町郷土子供芸能発表会後援
	28日	ひかりの箱募金
川崎岩手LC	24日	ひかりの箱募金
室根LC	12日	使用済み切手 800枚送付
	12日	ヘッドネーション推進活動
4R2Z		
大船渡LC	13日	自衛隊非常食を社会福祉協議会へ寄贈
	21日	声の図書館点検と整備
陸前高田LC	12月23日	自衛隊非常食を社会福祉協議会へ寄贈
住田LC	—	
大船渡五葉LC	17日	ひかりの箱募金
5R1Z		
富古岩手LC	11日	ひとり親家庭応援イベント開催(支援物資配布)
久慈LC	~27日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
陸中宮古LC	28日	自衛隊非常食を社会福祉協議会へ寄贈
田野畑LC	—	
岩泉龍泉洞LC	—	
5R2Z		
釜石LC	12日	献血推進活動 クリスマス献血
遠野LC	11,25日	障害者施設支援リサイクル品の回収
	17日	ひかりの箱募金
釜石リアスLC	19日	自衛隊非常食を配布支援
	24日	使用済み切手 1000枚送付
大槌LC	—	
陸中山田LC	7日	子ども食堂 食糧支援
	20日	LCIF\$100献金、LCIF\$20献金
	21日	献血推進活動
レオクラブ		
盛岡	2~5日	2022世界のカレンダー展並びにカレンダー
石鳥谷	—	リサイクル市開催
北上	—	
一関二高	12日	校舎内の消毒液補充
	18,19,21日	歳末たすけあい募金活動
釜石	—	

2月のアクティビティ

1R1Z		
盛岡LC	9日	LCIF\$1000献金
	9日	ひかりの箱募金
盛岡不来方LC	13日	こども食堂弁当販売協力
盛岡中津川LC	7日	東日本大震災復興支援 陸前高田竹駒保育園「非常用菓子類」寄贈
	11日	献血推進活動 バレンタイン献血
	15日	盛岡親武LC子ども食堂へ「自衛隊非常食」寄贈
盛岡親武LC	9日	献血推進活動(直接献血)
	9日	こども食堂「自衛隊非常食」寄付
	13日	こども食堂
盛岡南LC	9日	ヘッドネーション
滝沢LC	16日	献血推進活動
玉山姫神LC	12日	献血推進活動 バレンタイン献血
	17日	盛岡親武LC子ども食堂へ「自衛隊非常食」寄贈
1R2Z		
二戸LC	10日	献血推進活動 バレンタイン献血
	16日	深山神社神楽保存会助成金寄贈
	24日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
西根LC	3日	献血推進活動
	9日	ヘッドネーション
安代LC	10日	児童書「31センチの約束」贈呈
	10日	安代中学校スキー強化援助費贈呈
2R1Z		
花巻LC	5日	献血推進活動
	7日	NPO花巻少年少女創造活動支援協会へ活動資金寄付
	~2月	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
紫波LC	18日	献血推進活動
石鳥谷LC	3日	ひかりの箱募金
花巻東LC	3日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
矢巾LC	7日	使用済み切手 3000枚送付
	21日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
2R2Z		
北上LC	14日	北上市社会福祉協議会へ非常食寄贈
	14, 17日	献血推進活動
	15日	LCIF\$1000献金 2件
	~25日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト
和賀LC	14日	献血推進活動
	14日	北上市社会福祉協議会へ非常食寄贈
北上国見LC	16日	使用済み切手 1574枚送付
	18日	LCIF\$1000献金
江釣子LC	13日	献血推進活動 バレンタイン献血
	14日	北上市社会福祉協議会へ非常食寄贈
	28日	使用済み切手 861枚送付
3R1Z		
水沢LC	13日	水沢LC「きらめき賞」
江刺岩手LC	-	
前沢LC	13日	献血推進活動
水沢中央LC	6日	バレンタイン献血
	17日	LCIF\$1000献金 2件
	28日	勤労学生表彰
金ヶ崎LC	12日	献血推進活動 バレンタイン献血
	21, 25日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト表彰
	24日	こどものみらい古本募金
	24日	ポケットチェンジ
胆沢岩手LC	25日	奥州市胆沢地区内児童生徒表彰

3R2Z		
一関LC	-	
平泉LC	16日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト展示会
	16日	ライオンズ文庫(図書カード寄贈)
花泉LC	21日	使用済み切手 1000枚送付
一関中央LC	6日	献血推進活動
	10日	一関市内・新入学児童へランドセルカバー450枚寄贈
一関巖美溪LC	-	
4R1Z		
千厩LC	2日	郷土芸能伝承活動支援
	25日	非常食利用支援
大東岩手LC	2日	郷土芸能伝承活動支援
	15日	非常食利用支援
東山LC	2日	郷土芸能伝承活動支援
	15日	非常食利用支援
藤沢岩手LC	8日	献血推進活動
川崎岩手LC	15日	非常食利用支援
室根LC	2日	郷土芸能伝承活動支援
	7日	献血推進活動
	15日	国際医療福祉専門学校へ非常食支援
	20日	蟻塚公園桜の木手入れ
4R2Z		
大船渡LC	21日	使用済み切手427枚送付、書き損じハガキ66枚送付
	28日	声の図書館点検と整備
陸前高田LC	13日	献血推進活動
住田LC	-	
大船渡五葉LC	-	
5R1Z		
宮古岩手LC	-	
久慈LC	-	
陸中宮古LC	6日	献血推進活動
	15日	LCIF\$100献金
田野畑LC	-	
岩泉龍泉洞LC	-	
5R2Z		
釜石LC	24日	卒業レオへ記念品贈呈
遠野LC	7日	ライオンズ国際平和ポスター・コンテスト記念品贈呈
	25日	使用済み切手 1000枚送付
釜石リアスLC	22日	使用済み切手 1000枚送付
大槌LC	-	
陸中山田LC	-	
レオクラブ		
盛岡	9日	カレンダー展益金 岩手県ユネスコ連絡協議会へ贈呈
	9日	カレンダー展益金 盛岡ユネスコ協会へ贈呈
	9日	カレンダー展益金 岩手県ユニセフ協会へ贈呈
	9日	「アイバンクひかりの箱」街頭募金贈呈
石鳥谷	-	
北上	-	
一関二高	16日	歳末助け合い募金集計
釜石	-	

用途に合わせて選べます

世界のカレンダー展&リサイクル市



用やトイレ用にサイズを吟味して購入。「いつも楽しみに待っている。チャリティーでいいものを手に入れられて良かった」と笑顔で話していた。盛岡レオクラブの佐々木杏奈副会長(29)。「花巻市」は「予想よりもお客さんが来てくれた。寄付したいたいたカレンダーは数が多く、毎年抽り出し物もある。お気に入りを見つけて、購入してもらえたら」と呼び掛けた。午前10時から午後6時(最終日は同5時)まで。

掘り出し物たくさん 盛岡レオクラブ カワトクであります

盛岡レオクラブ(菊池美沙会長、会員40人、主催の「2022年世界のカレンダー展」と「カレンダーリサイクル市」が盛岡市東部のバルクアベニュー・カワトク7階の特設会場で開かれている。各国大使館や企業、家庭などから寄付された多種多様なカレンダーをチャリティーで販売。収益は、県内のユニセフ協会やユニセフ協会などの福祉団体に義寄付する。5日まで。

盛岡レオクラブは、毎年恒例の「世界の力」は、今年は台湾・テフ盛岡地域の五つのライオンズクラブが主催。リカ大陸東部のエリートオンズクラブが1977年、昨年は新型コロナウイルスの大使館から寄せられたものが見られ、6年に創設した、青少年感染拡大防止のため。各国の美しい風景による社会奉仕団体の開催となった。や文化がカレンダーを体。県内の学生や社会人が所願している。世界のカレンダーを通して伝わる。

そのほかのカレンダーには「数字のみ」「2月カレンダー」「スポーツ・芸能」「ペット・動物」など、種類ごとに陳列。100円からの安価な1枚ものをはじめ、日めくり、豊富に揃っている。用途に合わせて選べる。初日の3日に夫婦で来場した70歳代女性(盛岡市)はリビング

岩手日報 2022年(令和4年)2月22日(火曜日)

地域スポット

◆盛岡レオクラブが3団体に寄付 盛岡地区の青少年の社会奉仕団体・盛岡レオクラブ(菊池美沙会長、20人)は19日、県内の3団体に活動の収益金計46万6500円を寄付した。写真は、贈呈式は盛岡市内のホテルで行われ、関係者10人が出席。2021年度事務局を務める盛岡ライオンズクラブの樋下光会長(56)が、県ユニセフ連絡協議会、盛岡ユニセフ協会、県ユニセフ協会の代表者にそれぞれ15万5500円の寄付金目録を手渡した。1月に盛岡レオクラブが主催した世界のカレンダー展の収益金を寄付。各団体を通じ、恵まれない子どもたちの援助に役立ててもらう。県ユニセフ協会の石橋百合子専務理事(61)は「コロナ禍でなかなか募金活動ができないのでありがたい。これを励みに活動を広げていきたい」と感謝。樋下会長は「カレンダー展は今回で39年目となり歴史を重ねてきた。今後も主要事業として継続していきたい」と決意を新たにされた。

岩手日報 2022年(令和4年)3月9日(水曜日)

地域スポット

◆陸中宮古ライオンズクラブ、子ども食堂支援へ食品寄付 宮古市の陸中宮古ライオンズクラブ(岩田博子会長、会員16人)は8日、市社会福祉協議会(伊藤健二会長)の子ども食堂事業を支えるため、10万円分のレトルト食品を寄贈した。

同市小山田の同協議会を岩田会長(51)は写真手前左から訪れ、温めるだけで食べられる白米や味付けご飯1720食分を贈った。伊藤会長(73)は「同右は「新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、苦しみが増した世帯も多い。心温かい善意の支援を大いに活用させてもらおう」と感謝した。子ども食堂で使うほか、困窮世帯に配布する。寄贈は同団体の結成40周年

記念事業として企画。岩田会長は「困難に直面している人々を直接支えるために食材提供を決めた。今後も継続して協力していきたい」と決意した。

同団体は1982年9月27日に県内51番目のライオンズクラブとして誕生。5月に40周年記念式典を行う。



郷土愛育み 次代へ



全校児童が参加して復活した郷土いろはかるた大会

花巻

大迫町郷土いろはかるたを使うたカルタ大会が復活。花巻市立大迫小学校(校長 坂本 晃)は、15日、同校体育館で全学年による大会を開き、児童が楽しみな郷土・大迫の魅力を堪能した。

カルタ大会4年ぶり復活

大迫小 名勝や風物詩詠む

大迫町郷土いろはかるたの理解や郷土愛の醸成を、1976年、大迫町を目的に制作。冬休み中、池峰ライオンクラブの行事として大迫ふるさとの郷土・大迫の魅力を、(LC)が少年の地域とゼンマイを会場に、新

21年4月の大迫地域の3小学校統合を機に、学校行事としてカルタ大会の復活を模索。同LC姉妹校、ねご山の草

大迫町郷土いろはかるたの復活を機に、2017年度より同LC鳥谷LCの協力で復活に努めた。

大迫町郷土いろはかるたの復活を機に、2017年度より同LC鳥谷LCの協力で復活に努めた。


会 員 動 向

R	Z	クラブ名	月	会員名(新入/再入/転入)	種別
1	1	盛岡中津川	1	村上 超子	正会員
			1	中村 忠	正会員
	2	西根	1	伊藤 規子	正会員(家族会員)
			1	遠藤 純子	正会員(家族会員)
			1	高橋 ミツエ	正会員(家族会員)
			1	向井 トシ子	正会員(家族会員)
			1	山口 敦子	正会員(家族会員)

R	Z	クラブ名	月	会員名(新入/再入/転入)	種別
3	1	水沢	2	千葉 加寿子	正会員
			2	大船渡	三浦 勝朗
4	2	大船渡五葉	2	片山 智美	正会員(家族会員)
			2	片山 秀樹	正会員
5	2	釜石	1	佐々木 幸也	正会員
			1	陸中山田	上澤 加江

訃 報


石鳥谷LC
故 L.羽川 廣志
享年81歳(2008年8月入会)
2月9日ご逝去



盛岡不來方LC
故 L.山崎 清基
享年76歳(1996年4月入会)
3月7日ご逝去



室根LC
故 L.加藤 幸弘
享年65歳(2000年11月入会)
3月15日ご逝去



LCIF\$1,000献金 2022年1月度

クラブ名	会員氏名	MJF回数
水沢中央	村上 孝	21
水沢中央	菅原 智美	12
水沢中央	及川 幹雄	7
一関	菅原 博之	4

LCIF\$1,000献金 2022年2月度

クラブ名	会員氏名	MJF回数
盛岡	平野 喜嗣	23
北上	照井 將	9
北上	菅原 好昭	15
北上国見	菊池 徳男	11
水沢中央	村上 孝	22
水沢中央	佐藤 英耕	4



宮古岩手LC

ひとり親家庭応援 新年をラーメンで祝う



花泉LC

花泉手をつなぐ会ケーキ代支援



遠野LC

薬物乱用防止教室



和賀LC

ヘアドネーション促進児童書の寄贈



二戸LC

自衛隊非常食 社会福祉協議会へ寄付



陸前高田LC

献血推進活動



金ケ崎LC

平和ポスター展示会



室根LC

塚塚公園 桜の木の手入れ



盛岡観武LC

子ども食堂(手作り弁当手渡し)



安代LC

平和ポスターコンテスト表彰式



水沢中央LC

勤労学生表彰



釜石LC

卒業レオへ記念品贈呈

編集後記

私事で誠に恐縮ではございますが、ライオンいわての表紙の顔に、元岩手県知事の千田正さんにご登場頂けましたこと、金ケ崎町で生まれ育った小生にとりまして、この上もない喜びでございました。これも偏に、編集委員であります金ケ崎LCの高橋美輝夫Lのご協力の賜と心より感謝致しております。

さて、今季のライオンいわても5月・6月合併号を残す限りとなりました。最終号の表紙の顔は、誰もがご存知であろう「あの人」にご登場頂くこととほぼ固まっております。水沢三偉人の一人、二・二六事件の凶弾に倒れた岩手が生んだ二人目の内閣総理大臣です。どうぞご期待ください。

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行人：L.村上 孝(水沢中央LC)
 編集長：L.平澤真樹(水沢中央LC) 副編集長：L.石田博幸(前沢LC)
 編集委員：L.及川和人(水沢LC)、L.高橋 晋(江刺岩手LC)
 L.高橋美輝夫(金ケ崎LC)、L.千田長(胆沢岩手LC)
 印刷：有限会社アドスタッフ
 編集事務局：〒023-0817 岩手県奥州市水沢東町4 水沢商工会館3F
 TEL・FAX 0197-25-2959
 E-mail : mclc3rlz@catv-mic.ne.jp

表紙の写真 郷土の先人たち vol.6 豪快かつ人情味豊かな岩手県知事 千田 正

明治32年(1899) 4月28日、三ヶ尻谷地中に、政五郎・マサの長男として生まれる
 大正2年(1913) 金ケ崎尋常小学校卒業 胆沢郡立胆沢農業学校入学
 4年(1915) 仙台商業高等学校へ編入
 9年(1920) 早稲田大学商学部入学
 14年(1925) 大学卒業後、アメリカ留学のためシアトルへオハイオ州ハイデルバーグ大学入学
 昭和2年(1927) ロンドン大学大学院入学
 昭和3年(1928) 帰国 横浜外国語大学、早稲田大学で先生をする
 4年(1929) 損害保険会社に勤務 この年、結婚
 7年(1932) 芸文館書房(本屋)を設立・経営
 9年(1934) 鉱石採掘業、電柱用木材卸業など始める
 13年(1938) 森友貿易株式会社上海支店長として勤務
 15年(1940) 上海豊和洋行(貿易会社)を設立・経営
 17年(1942) 中支那振興株式会社の部長となる
 20年(1945) 中支那振興株式会社閉鎖 上海で終戦 在外邦人の引き上げを円滑にするため現地で尽力
 21年(1946) 帰国 岩手引揚者厚生連盟理事長となる
 22年(1947) 参議院議員に初当選(三期15年間務める)

37年(1962) 参議院議員選挙に敗れる
 38年(1963) 岩手県知事に初当選 (四期16年間務める) 在職中、国民体育大会の誘致、中部(金ケ崎)工業団地、流通基地の造成等に尽力
 47年(1972) 勲一等瑞宝章を受章 金ケ崎町名誉町民に推挙
 54年(1979) 岩手県知事選に敗れる
 58年(1983) 2月5日死去 享年83歳 従三位授与
 平成7年(1995) 氏を顕彰し、生誕地に千田正記念館が開館



書をこよなく愛した千田正 金ケ崎町の住家に残る直筆の書